

様式2

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025年 7月 17日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒006-0002 札幌市手稲区西宮の沢2条2丁目2番30号
氏名	株式会社 ロード技研
(代表者名)	代表取締役 水野 正博
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項の規定により、環境保全行動
第23条第3項の規定により、自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日								
事業の規模	従業員数	7	人	原油換算した	14.0 k1				
	使用床面積	54.5	m ²	燃料・熱・電気の合計量					
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	7 台				
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	36.8	t-CO ₂	メタン	t-CO ₂	N ₂ O	t-CO ₂	HFC
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	PFC	t-CO ₂	SF ₆	t-CO ₂	NF ₃	t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名								
	担当者氏名								
	電話/FAX								
	電子メールアドレス								
計画書提出根拠	条例第13条 (環境保全行動計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項					
	条例第23条 (自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項					
計画期間	2022年 4月 1日 ~ 2025年 3月 31日								
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり								
備考									

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	33.6 t	2 %	34.5 t	▲ 3 %	×	34.8 t	▲ 4 %	×	36.8 t	▲ 10 %	×
紙使用量の削減	138.6 kg	2 %	134.4 kg	3 %	○	132.3 kg	5 %	○	133.5 kg	4 %	○
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	×	地方現場が多く、往復する回数も多かったので増えた。
紙使用量の削減	○	両面印刷、ミスコピーの裏面使用を徹底。

4 その他（環境保全活動の取り組み等）の実施状況

工事現場での電光掲示板、LEDバルーン投光器などはソーラーパネル、充電式バッテリーを動力源としてCO2削減対策として実施。